

巻 頭 の こ と ば

平成30年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

本市におきましては、地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を目指し、木質バイオマス発電所建設に向けた和田浜工業団地整備事業を完了したほか、企業誘致や地元企業の増設拡大の受け皿としての米子インターチェンジ周辺工業用地整備事業を完成に向けて進めてまいりました。

観光振興に関しては、大山圏域の自治体や民間団体と一体となって「大山開山1300年祭」や「第3回『山の日』記念全国大会in鳥取」を盛り上げるため、関連行事に積極的に参画し、地域の魅力の再確認と圏域内外への情報発信に取り組みました。さらに、インバウンドを含む観光等への対応力を強化すべく、JR米子駅構内に国際観光案内所を設置し、訪問客の満足度向上とリピーター増加につなげるための機能充実を図りました。また、米子城跡の魅力をより一層高めるため、今後の活用方針等を示した計画を策定するなど、一步ずつ着実に環境整備に努めてきたところでございます。

子育て関連では、「こども総合相談窓口」を開設して包括的な子育て支援体制の充実を図るとともに、発達に課題のある児童への早期対応のため、5歳児全員を対象とした健診を開始し、子ども達の健やかな成長につながる施策を展開しました。

障がい者福祉関連では、手話言語の普及等に関する基本理念等を定めた「米子市手話言語条例」を制定し、障がいの有無に関わらず全ての市民が共生できるよう、人にやさしいまちづくりへの取組を推進しました。

今後も、全庁一丸となって時代の変化や新たな課題に柔軟かつ適切に対応するとともに、「住んで楽しいまちづくり」の実現に向けて新たな挑戦を重ね、機動的かつ効果的な施策を展開し、鳥取県西部圏域はもとより、中海・宍道湖・大山圏域の中心的な役割を担う都市として、さらなる連携をもって一体感のある発展を図っていきたいと考えております。

市議会議員各位のご指導をはじめ、市民の皆さまのご意見とご協力をいただきながら、引き続き、市政運営にまい進する所存でございますので、どうか、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年8月

米子市長 伊 木 隆 司